

令和5年7月九州北部豪雨災害 復旧・復興推進チーム 第8回会議

日時:令和6年3月27日(水)16:00～
場所:県庁新館4階 庁議室

【次 第】

- 1 各部局等における復旧・復興の取組状況について

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】</p> <p>I インフラ関連グループ（県土整備部）</p>						
<p>【取組項目】</p> <p>① 道路、河川などインフラ関連の復旧</p> <p>② 土砂災害への対応</p>						
<p>【課題】</p> <p>① 早急な被害状況の全容把握</p> <p>② 被害拡大を防ぐための応急対策</p> <p>③ 復旧に向けた体制確保</p> <p>・地元調整や設計・工事発注に係る体制の確保</p>						
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】</p> <p>① 被害状況の把握</p> <p>・豪雨直後から冠水箇所や被災箇所等の調査を行い、被害状況を把握</p> <p>・公共土木施設の被害状況（最終）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>県施設</td> <td><u>234箇所（約68億円）</u></td> </tr> <tr> <td>市町施設</td> <td><u>340箇所（約50億円）</u></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td><u>574箇所（約118億円）</u></td> </tr> </table> <p>② 応急対応</p> <p>・緊急的な対応が必要な箇所の対応完了</p> <p>③ 今後の本復旧</p> <p>・公共土木施設について</p> <p><u>災害査定が8/28から開始され、2/9に完了</u></p> <p><u>順次、災害復旧工事を発注</u></p> <p>・技術職員の派遣</p> <p>唐津市役所：延べ <u>240人・日（2/9完了）</u></p> <p>唐津土木事務所：延べ <u>386人・日（3/27時点）</u></p> <p>・土砂災害箇所（浜玉町今坂地区）</p> <p>雨量計やセンサー、警報装置を設置し斜面の監視を実施中</p> <p>本格的な復旧に向けて災害関連緊急砂防事業（国補助事業）に採択（8/14）</p> <p>不安定な土砂の撤去や、仮設の土留めを設置済み（10/11）</p> <p><u>本復旧に向けた砂防堰堤の設計完了。工事内容に関する地元説明会を実施（3/17）</u></p>	県施設	<u>234箇所（約68億円）</u>	市町施設	<u>340箇所（約50億円）</u>	計	<u>574箇所（約118億円）</u>
県施設	<u>234箇所（約68億円）</u>					
市町施設	<u>340箇所（約50億円）</u>					
計	<u>574箇所（約118億円）</u>					

- ・土砂災害箇所（今坂地区以外の箇所）
 人家裏のがけ崩れ対策工事 60箇所
- ・有明海沿岸の漂着物への対応
 ヨシ・アシ等の漂着量 約 17,300 m³
 建設海岸（佐賀市、小城市、鹿島市、白石町、太良町）に漂着したヨシ・アシ等について 7/25 から撤去作業を実施し 8/31 に撤去完了、10/17 に処分完了

【9月補正予算における対応（2月補正反映後）】

- 土木災害復旧費（県・市町事業 国補助）
 6,784,217 千円（国庫 4,458,204 千円、県費 2,326,013 千円）
 ・道路 31 箇所、河川 201 箇所、砂防 2 箇所
- 災害復旧緊急対応費（県事業）
 1,191,818 千円（県費 1,191,818 千円）
 ・道路に流入した土砂の撤去
 ・護岸崩壊箇所の大型土のう設置等
- 災害関連緊急砂防事業費（県事業 国補助）
 370,000 千円（国庫 240,000 千円、県費 130,000 千円）
 ・砂防ダム 1 基 ⇒設計中
- 建設海岸漂着ごみ緊急対策費（県事業 国補助）
 179,100 千円（国庫 65,000 千円、県費 114,100 千円）
 ・ヨシ・アシ等の撤去 約 17,300 m³ ⇒ 処分完了（10/17）

【11月補正予算における対応（2月補正反映後）】

- 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業費（市町事業 国・県補助）
 126,540 千円（国庫 70,301 千円、県費 56,239 千円）
 ・急傾斜 4 箇所
- 急傾斜地崩壊防止事業費補助（災害関連）（市町事業 県補助）
 150,276 千円（県費 150,276 千円）
 ・急傾斜 54 箇所

【2月補正予算における対応】

○災害復旧事業査定設計委託費（県事業 国補助）

413,356 千円（国庫 206,678 千円、県費 206,678 千円）

・測量設計 230 箇所

【令和6年度当初予算における対応】

○特定緊急砂防事業（県事業 国補助）

31,200 千円（国費 15,000 千円、県費 16,200 千円）

・溪流保全工 1 箇所

○急傾斜地崩壊防止事業費補助（災害関連）（市町事業 県補助）

128,050 千円（県費 128,050 千円）

・急傾斜 17 箇所

【ここまでの状況と今後の対応】

○ これまでに、応急復旧工事が11月、本復旧に向けた災害査定が2月に完了

○ 県の災害復旧工事の約7割が発注完了

○ 引き続き、市町と連携し被害箇所の早期復旧を図る

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】</p> <p>I インフラ関連グループ（農林水産部）</p>
<p>【取組項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農地・農業用施設等の被害対応 ○ 林地、林道、林業用施設の被害対応 ○ 漁港・農地海岸の被害対応
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 早期復旧に向けた、災害査定及び本復旧工事の早期実施
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農地、林地等の被害状況の詳細な把握（11/27 確定） <ul style="list-style-type: none"> ・農地や農道等の土地改良施設 <ul style="list-style-type: none"> 農地、水路、農道、ため池等の法面崩壊等 被害額 156 億円 農地 2,789 箇所 農道等の土地改良施設 2,096 箇所 合計 4,885 箇所 ・林地、林道等 <ul style="list-style-type: none"> 林地・林道等の法面崩壊等 被害額 36 億円 林地 144 箇所 林道 1,298 箇所 合計 1,442 箇所 ○ 有明海沿岸の漂着物への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港へのヨシ・アシ等漂着（佐賀市、鹿島市など） <ul style="list-style-type: none"> →漂着物の撤去完了（8/24）、処分完了（12/8） ・農地海岸へのヨシ・アシ等漂着（佐賀市、鹿島市、白石町） <ul style="list-style-type: none"> →漂着したヨシ・アシ等について 7/26 から撤去作業に着手し、9/7 に撤去完了、10/16 に処分完了 〔再掲：有明海沿岸ヨシ・アシ等漂着量 約 17,300 m³〕 ○ 災害復旧に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・災害査定に向けた準備のため、県職員（農業土木、林業）を 7 月 19 日から唐津市・神埼市への派遣を実施（7/19～12/20）（延べ人数 71 人） ・被災箇所の応急復旧や災害査定に向けた測量・設計に対する技術的支援 ○ 災害復旧の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・農地や農道、林道などの災害査定が 12/27 に終了し、復旧工事に着手

【9月補正予算における主な対応（2月補正反映後）】

○農地等災害復旧費（市町事業）

731,767千円（国庫 723,042千円、県費 8,725千円）

- ・補助率：国 農地 95.0% 施設 97.2%
- ・被災した農地・土地改良施設の復旧

⇒災害査定が 12/27 に終了、復旧工事に着手

○緊急治山事業（県事業）

713,910千円（国庫 475,940千円、県費 237,970千円） ※11月補正分含む

- ・補助率：国 2/3、県 1/3
- ・被災した林地の緊急復旧

⇒12/26 までに林野庁の事業採択決定、復旧工事の発注開始

○林道災害復旧費（県・市町事業）

677,482千円（国庫 677,482千円）

- ・補助率：国 奥地 97.4%、その他 92.6%
- ・被災した林道の緊急復旧

⇒災害査定が 12/8 に終了、復旧工事に着手

○農地海岸漂着ごみ緊急対策費（県事業）

148,000千円（国庫 41,500千円、県費 106,500千円）

- ・補助率：国 1/2、県 1/2
- ・農水省所管の農地海岸に漂着しているアシ等の撤去・処分

⇒9/7 撤去完了、10/16 処分完了

○漁港海岸漂着ごみ緊急対策費（市町事業）

3,000千円（県費 3,000千円）

- ・補助率：県 1/2
- ・漁港に漂着しているアシ等撤去・処分

⇒8/24 撤去完了、12/8 処分完了

【11月補正予算における主な対応（2月補正反映後）】

○溪流等県土保全緊急対策事業（県事業）

53,795千円（県費53,795千円）

- ・補助率：県100%
- ・国庫補助の採択基準（工事費70百万円以上等）を満たさない被災した林地の緊急復旧

⇒復旧工事の設計に着手

○県単林道災害復旧費（市町事業）

21,000千円（21,000千円）

- ・補助率：林道 県1/2、作業道 県1/3
- ・国庫補助の採択基準（工事費400千円以上等）を満たさない林道及び作業道の緊急復旧

⇒復旧工事の設計に着手

【令和6年度当初予算における対応】

○農地等災害復旧費（市町事業）

892,591千円（国庫886,004千円、県費6,587千円）

- ・被災した農地・土地改良施設の復旧

○林道災害復旧費（市町事業）

290,570千円（国庫290,570千円）

- ・被災した林道の緊急復旧

【ここまでの状況と今後の対応】

○ これまでに災害査定は12月に終了

○ 農林災害の復旧は市町事業が主であることから、引き続き復旧工事に係る市町への支援を行い、被害箇所の早期復旧を図る

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】 Ⅱ 産業関連グループ（農林水産部）</p>
<p>【取組項目】 ○ 農林水産物等の被害対応</p>
<p>【課題】 ○ 被災者が前を向いて農林水産業の経営を継続できるよう支援</p>
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】 ○ 農作物等の被害状況の詳細な把握（11/27 確定） 【農畜産物】 ・浸冠水等による農作物被害 被害面積計 608ha 被害額 2.4 億円 水稲（佐賀市、唐津市、神崎市、みやき町ほか） 581ha アスパラガス（佐賀市、唐津市、上峰町、みやき町） 6.7ha 花き（佐賀市、唐津市、みやき町） 2.9ha こねぎ（唐津市） 2.5ha ほうれんそう（佐賀市、唐津市、神崎市） 2.3ha トマト（佐賀市、唐津市） 2.0ha きゅうり（唐津市） 1.9ha ハウスみかん（唐津市） 0.7ha など 【農業用施設・設備】 被害件数計 300 件 被害額 6.7 億円 ・土砂流入等によるハウス損壊 132 件 （品目：ハウスみかん、きゅうり、ほうれんそう、花き など） ・農業用倉庫の損壊 7 件 ・畜産用施設への土砂流入や浸水 3 件 ・農業用設備等の水没等（ハウス加温機など） 145 件 ・鳥獣被害防止柵 12,477m など ○ 有明海沿岸の漂流物の回収・処分を完了 ○ 被災後の栽培管理に生かしてもらうため、農業技術防除センターが技術情報を発信（7/10, 7/12, 7/13）、栽培管理は農業振興センターが現地に入って技術指導の実施</p>

【9月補正予算における対応（2月補正反映後）】

○農業用施設・設備等被災者支援事業

86,000千円（県費86,000千円）

- ・被災したハウス・設備等の再建・修繕等に要する経費の助成
- ・ハウスに流入した土砂の撤去等に要する経費の助成
- ・補助率：県 3/10

⇒ハウス等の再建・修繕等の支援の継続、補助金交付に係る手続き中

○営農再開・草勢樹勢回復等被害対策事業

9,108千円（県費9,108千円）

- ・被災した作物の次期作等の栽培開始に必要な生産資材（種子、種苗等）の購入等に要する経費の助成
- ・被災した作物の草勢・樹勢の回復のために必要となる生産資材（薬剤・肥料等）の購入に必要な経費の助成
- ・補助率：県 1/3、1/2（※）、定額 ※就農5年以内の新規就農者

⇒営農再開、草勢・樹勢の回復に向けた支援は概ね完了（一部継続）、補助金交付に係る手続き中

○被災鳥獣侵入防止施設応急対策事業

8,298千円（県費8,298千円）

- ・鳥獣侵入防止施設（ワイヤーメッシュ柵、電気柵）の応急的な整備に要する経費の助成
- ・補助率：県 1/2

・豪雨災害からの復旧・復興に対するふるさと納税の寄附額（3,476千円）は当事業に活用

⇒施設の応急的な整備は概ね完了、補助金交付に係る手続き中

○農業災害等対策特別資金利子補給

- ・低利の資金を迅速に融資できるように利子補給を準備
- ・補助率：県 1/2、市町 1/2

⇒申請なし

○沿岸漂流物等除去事業（漁協に委託）

11,000 千円（県費 11,000 千円）

- ・河川等から漁場に流入したヨシ・アシ等や沿岸域に漂流しているゴミ等の回収・処分

⇒8/20 漂流物の回収完了、10/31 処分完了

【ここまでの状況と今後の対応】

- これまでの支援により、ハウス等の再建・修繕や営農再開が順調に進捗
- 今後も被災者の経営継続に向けた支援を継続

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】 I インフラ関連グループ（地域交流部）</p>
<p>【取組項目】 被災した鉄道の復旧対応</p>
<p>【課題】 ・長崎本線の被災箇所は、県管理河川（三本松川）との交差箇所であり、河川堤防の復旧工事との調整が必要</p>
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】 ・担当職員が現地を確認するなど、被災箇所や被災状況の把握を行い、JR九州及び庁内各課との連絡・調整を行った</p> <p>（被災箇所） 長崎本線（吉野ヶ里－神埼間）築堤崩壊・・・7/11 朝運行再開（仮復旧済） 唐津線（相知－本牟田部間）土砂流入・・・7/11 朝運行再開（仮復旧済） 筑肥線（山本－肥前久保間）築堤崩壊等・・・7/11 夕運行再開（仮復旧済）</p>
<p>【今後の対応】 ・対応完了</p>

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

【グループ】 Ⅲ 生活関連グループ（地域交流部、県土整備部）			
【取組項目】 住宅支援（住宅の応急修理など）			
【課題】 ・住宅が損壊し、「住宅の応急修理」や「みなし仮設住宅への入居」が必要となる世帯数を把握し、被災者の方の意向を踏まえた対応が必要			
【住家被害】		(3/15時点)	
種別	棟数	内訳等	
全壊	4	佐賀市 1、唐津市 3	
半壊	6	佐賀市 1、唐津市 5	
一部破損	37	佐賀市 22、唐津市 13、みやき町 2	
床上浸水	18	佐賀市 5、唐津市 10、神崎市 3	
床下浸水	82	佐賀市 18、唐津市 11、伊万里市 2、神崎市 51	
合計	147	佐賀市 47、唐津市 42、伊万里市 2、神崎市 54、みやき町 2	
【罹災証明発行状況】		(3/15時点)	
被害の程度	申請数	発行数	内訳等
全壊	佐賀市：48	4	佐賀市 1、唐津市 3
半壊	唐津市：43	8	佐賀市 1、唐津市 6、神崎市 1
準半壊	神崎市：3	10	佐賀市 7、唐津市 3
一部損壊		72	佐賀市 39、唐津市 31、神崎市 2
合計	94	94	佐賀市 48、唐津市 43、神崎市 3
申請数における発行数の割合：100%			

【復旧・復興に向けた取組状況】

・「住宅の応急修理」や「みなし仮設住宅」の受付を7月24日に開始

≪進捗状況≫

(みなし仮設住宅) 入居件数：1件

(住宅の応急修理) 受付件数：7件

完了件数：6件

※応急修理の対象世帯は、住宅の被害の程度が準半壊以上

※応急修理の申請受付期限：令和6年3月29日(金)まで

※みなし仮設住宅の対象世帯は、住宅の被害の程度が全壊(原則)で、居住する住宅がない場合

※3月15日時点

・公営住宅への一時入居世帯：2世帯(佐賀市：0世帯、唐津市：2世帯)

※住宅に居住困難な被害を受けた世帯が対象

※3月15日時点

・県独自の被災者生活再建支援金の申請を受け付けており、4世帯(佐賀市1世帯、唐津市3世帯)の申請を受理し、全世帯へ支給済み(基礎支援金)

※被災者生活再建支援の対象世帯は、全壊、大規模半壊、中規模半壊及び半壊でやむなく解体した世帯

※被災者生活再建支援金には、基礎支援金(被災の程度に応じる)と追加の加算支援金(再建等の後に申請)があり、現在は基礎支援金分のみの段階

※3月15日時点

【ここまでの状況と今後の対応】

・「罹災証明書」は、申請があったものは全て発行済みであり、今年になって申請はあっていない

・申請の受付期限が今月末である「住宅の応急修理」については、7件の申請があり、うち6件で応急修理が完了。残り1件も今月末に修理完了見込み

・また、市営住宅に一時入居されていた方が退去されるなど、被災された方々の生活再建も順調に進捗

・今後も被災者の意向を踏まえ対応していく

令和 5 年 7 月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】</p> <p>Ⅱ 産業関連グループ（産業労働部）</p>
<p>【取組項目】</p> <p>企業活動の再開支援</p>
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県として被害情報の把握を行い、度重なる自然災害やエネルギー価格高騰により経営的に痛手を負っている事業者を支援していく ・長崎自動車道東脊振 IC～鳥栖 IC 間の通行止めが物流や通勤に影響するとの声があり、早期の通行再開が必要
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工団体の協力も得ながら被害状況を調査 7市町で 54 件（浸水 30 件、土砂崩れ 20 件など）、約 135 百万円の被害を把握 ・災害復旧資金の取扱いを実施（令和 5 年 7 月 11 日から令和 6 年 3 月 31 日まで） これまでに申込実績はなし <p>融資限度額：6,000 万円 資金の用途：災害復旧を行うために必要とする設備資金及び運転資金 貸付利率：年 0.9% 保証料率：年 0%（県が全額負担） 貸付期間：10 年以内（うち据置期間 2 年以内） 受付機関：最寄りの金融機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7 月 10 日から金融特別相談窓口を設置（産業政策課内）、これまでに 4 件の相談 ・長崎自動車道の通行止めは 7 月 13 日に解除
<p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで貸付の実績はなく、相談の実績も発災直後のみであるため、<u>年度末で対応は終了</u> 今後相談があれば次年度以降対応

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】 Ⅲ 生活関連グループ（健康福祉部）</p>
<p>【取組項目】 被災者の支援</p>
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活再建に向けた支援が必要
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】 （生活再建に向けた支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県、日赤、共同募金会と連携し「令和5年7月九州北部豪雨佐賀県義援金」を受付 ・ 義援金配分委員会を、第1回を9/5、<u>第2回を12/20にそれぞれ開催して、計38,236,293円の義援金を、市を通じて被災された方々に配分</u> ・ <u>その後、3,937,337円（3/15把握分で総額42,173,630円。第1回、第2回配分額含む）の義援金が寄せられているところ</u> ・ 義援金の受付期間は令和5年7月18日から令和6年3月29日まで
<p>【ここまでの状況と今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>受付期限が今月末である「義援金」については、約4,200万円が集まっており、約3,800万円を被災された方々に配分</u> ・ <u>5月に全ての義援金を被災された方々にお渡しする予定</u>

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

【グループ】 Ⅲ 生活関連グループ（県民環境部）		
【取組項目】 災害ボランティアの活動支援		
【課題】 ・被災地の現場ニーズを把握し、関係機関と情報共有・連携しながら、ボランティア活動の円滑な実施を図る必要がある		
【復旧・復興に向けた取組状況】 【災害ボランティアセンター設置状況】		
名 称	【11/30 閉所】 佐賀市災害ボランティアセンター	【10/31 閉所】 唐津市災害ボランティアセンター
設置者	佐賀市社会福祉協議会	唐津市社会福祉協議会
場 所	佐賀市立大和老人福祉センター （佐賀市大和町大字久池井）	（【7/24（月）～10/31（火）】 唐津市七山鳴神の丘ふれあい館 （唐津市七山滝川） 【7/12（水）～7/23（日）】 唐津市ひれふりランド （唐津市浜玉町測上）
募集人数	（募集終了）	
作業内容	（主に住居周辺の泥かき、被災ごみの搬出、土のう積み）	
設置日等	設置・受付開始日：7月12日（水） 活動開始日：7月14日（金）	
<p>【支援内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア参加への呼びかけ ・県と包括連携協定を締結している企業等への働きかけによる災害ボランティアセンター及び災害ボランティア団体への物資等の提供・貸与 ・ボランティアに対する有料道路の通行料金の無料化（7/14～） ・ふるさと納税を募るサイト（ふるさとチョイス）において、被災地支援を行うCSOへの寄附を呼びかけ （3団体：Civic Force、難民を助ける会、佐賀未来創造基金×SPF※） ※役割：佐賀未来創造基金（寄附の呼びかけ・分配） SPF（支援活動） 		

【災害ボランティア参加実績】

・個人ボランティアの募集

受付方法：県社会福祉協議会特設サイトにて受付

参加延べ人数（箇所） 7月14日～11月30日

佐賀市	唐津市	計
387人（38箇所）	1,125人（151箇所）	1,512人（189箇所）

【包括連携協定締結企業等からの支援実績】

資材・物資名	提供者
ボランティア送迎用大型バン 物資輸送用トラック	佐賀県オールトヨタ
災害ボランティア用飲料	トヨタカローラ佐賀（株） 佐賀トヨペット（株） 佐賀トヨタ自動車（株） （公社）Civic Force 日本生命保険相互会社 江崎グリコ（株） 三井住友海上火災保険（株）
スマートフォン、ipad、Wifi	（株）NTTドコモ九州支社
タオル	第一生命保険（株） （特非）グッドネーバーズ・ジャパン 三井住友海上火災保険（株）
マスク、 お見舞いセット（軍手、タオル、ごみ袋）	あいおいニッセイ同和損害保険 （株）

（参考）佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）の状況

【設置内容】

○災害支援拠点の設置

設置者：佐賀災害支援プラットフォーム

設置期間：7/14（金）～11/30（木）

場所：唐津市七山

活動：中間支援（賛同団体 66 団体及び県外 CSO）

- ・被災地（者）のニーズ調査
- ・災害ボランティア団体等との情報共有
- ・県外ボランティア団体の受入れ調整

※CSO等の災害支援活動状況

- ・県内CSO等 22 団体
- ・県外の災害支援専門団体等受入 23 団体

【ここまでの状況と今後の対応】

- ・ 今後も関係機関（社協、SPF、市）が連携して専門的なスキルを持つ県外CSOによるボランティア活動を支援予定
- ・ 今後も災害が発生することを想定し、社協やSPFと連携して市町行政や社協、CSOを対象とした災害ボランティアセンターセンター設置運営や協働についての研修を行い、「顔の見える関係づくり」につなげていく。

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

【グループ】 Ⅲ 生活関連グループ（県民環境部）
【取組項目】 災害廃棄物の処理支援
【課題】 ・市町及び一部事務組合の廃棄物処理施設に「大きな被害なし」 ・災害廃棄物の広域処理に関して、「県への要請なし」
【復旧・復興に向けた取組状況】 ・環境省職員と7月12日に佐賀市、7月13日に唐津市の現場を確認・助言 （市町から具体的な要望はなし）
【今後の対応】 ・対応完了

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】 Ⅲ 生活関連グループ（教育委員会事務局）</p>
<p>【取組項目】 児童・生徒のケア</p>
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心のケアが必要な児童・生徒に対して、スクールカウンセラー派遣等の対応が必要 ・教科書や学用品を喪失等した児童・生徒に対して速やかな給与が必要
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心のケアが必要な児童、生徒への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・唐津市教育委員会からスクールカウンセラーの派遣要請があり、1名派遣（7月中旬に1回目、9月上旬に2回目の派遣）、2回目で派遣終了 ・他の市町に対しても、スクールカウンセラーの派遣の必要性を確認 これまでに、派遣要請なし ・教科書及び学用品の給与を必要とする児童・生徒の給付対象者に対し、対応完了 教科書（1名）：8月2日給与完了／学用品（3名）：8月2日給与完了
<p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応完了

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】 Ⅲ 生活関連グループ（男女参画・こども局）</p>
<p>【取組項目】 保育の確保</p>
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川の氾濫により平原保育園の園舎に土砂が流入。護岸が崩落し敷地の一部も崩落しており、園舎が使用できない状態。早期に保育の再開が必要
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園舎の復旧に時間を要するため、近隣の古瀬公民館及び平原集会所（浜玉林業構造改善センター）で7/19（水）から保育を再開 ※再開に向けてボランティアのスタッフによる支援あり ・2か所における保育による、保育者及び児童、保護者への負担軽減を図るため、11/1（水）に、「唐津市ひれふりランド」（唐津市保健センター）に保育の場を集約 ・令和5年度2月補正で、園舎の復旧に要する費用の一部を補助するための所要額を計上（児童福祉施設等災害復旧費補助：421,448千円） ⇒令和6年度中に整備予定 ・本園舎の復旧等について、唐津市と園で調整を進めている
<p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐津市と情報共有・連携し、保護者が安心して子どもを預けられるよう、代替施設での安全な保育環境の確保等、現場に寄り添った支援を行っていく ・園舎等の復旧に係る国庫補助（災害復旧補助）に関して、引き続き国と調整を進め、唐津市と情報を共有していく ・仮設園舎の早期建設及び本園舎の早期復旧に向け、唐津市及び園と調整を行っていく

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】 IV 総括（政策部）</p>
<p>【取組項目】 復旧・復興等に関する相談窓口の設置</p>
<p>【課題】 ・県民への適切な情報提供</p>
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】 ・相談窓口（復旧・復興等コールセンター）を7月13日（木曜日）に設置し7月28日（金曜日）まで運用 （対応時間）平日午前9時～午後5時 （回線数）2回線 ※相談件数：15件（7/28 17:00まで）</p>
<p>【今後の対応】 ・対応完了</p>

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム

【グループ】 IV 総括（危機管理・報道局）
【市町の警戒体制】 ・災害情報連絡室：なし（9月5日12時に唐津市が解散）
【避難等情報】 ○避難指示等：なし（7月18日15時に避難重点区域体制へ移行のため解除） ○避難所開設：なし（9月5日12時に唐津市の避難所が閉鎖） ○避難所数：なし（9月5日12時に唐津市の避難所が閉鎖） ○避難者数：なし（9月5日に唐津市の避難者が退所） ○休園：なし（7月19日より公民館等を利用し開園）
【災害救助法の適用】 3市町（佐賀市、唐津市、伊万里市）に適用（7月10日11時）

令和5年7月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム

【グループ】 IV 総括（総務部）
【リエゾン派遣】 唐津市に延べ18人派遣（7月13日～7月21日）

令和 5 年 7 月九州北部豪雨災害復旧・復興推進チーム 取組状況

<p>【グループ】 IV 総括（総務部）</p>
<p>【取組項目】 被災者の今後の経済的不安への対応等</p>
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災者への県税の減免等に関する情報提供 ・豪雨災害からの復旧・復興に対するふるさと納税寄附の活用
<p>【復旧・復興に向けた取組状況】</p> <p>(県税の減免等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の豪雨災害被災者に向け、県税の減免等の内容・手続について県 HP への掲載を実施済み (7/13) ・県税の減免等に関するプレスリリースを実施済み (7/13) ・県税事務所における減免等についての申請受付・相談対応を実施(申請 1 件、相談 4 件) <p>(ふるさと納税)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税寄附の募集開始 (7/13 ふるさと納税ポータルサイトへ掲載) ・ふるさと納税寄附の募集について、プレスリリース及び県 HP への掲載を実施済み (7/18) ・法人寄附の募集について、県 HP への掲載を実施済み (7/18) ・ふるさと納税寄附・法人寄附の募集について、首都圏事務所及び関西・中京事務所へ周知済み (7/18) ・ふるさと納税寄附・法人寄附の募集終了 (12/31) ・寄附額 (3,476 千円) は、被災地域の農業者支援 (イノシシ等侵入防護柵の復旧費補助) に活用
<p>【今後の対応】</p> <p>(県税の減免等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県税事務所における減免等についての申請受付・相談対応を継続 <p>(ふるさと納税)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税寄附者及び寄附法人に対して、寄附の活用実績を報告